

その他の食料品製造業におけるその他の装置、設備を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	被災従業員が廊下を歩行中、作業室から別の従業員が台車を押しながら廊下へ出てきた為、被災従業員の背中が扉に当たって転倒し、左膝を強打して左膝蓋骨を骨折した。	61	30~49
1	15~16	駐車場出入口の鉄の門扉を押して閉めようとした際、予想以上に門扉の動くスピードが速く、門扉下部のフレームに右足首をぶつけた。前日は雪が積もっており、強く押さないと中々動かなかったが、当日は雪も少なく、押して少し手を離し前進したが、予想以上に動きが速く、フレームが右足に当たり負傷する。	47	1~9
1	8~9	1F冷凍茹で槽前にて、超鮮度うどんの製造中に、ザル状のカゴが槽に引っかかったので1人で引き抜こうとしたところ、うどんが入ったザルを傾けてしまった為に、熱湯が右足にかかり火傷を負った。	16	~299
1	8~9	センター内下処理室にて、計量機を移動しようとした際に、ロックが掛かった状態に気付かず、勢いよく無理に移動しようとした為、右手親指を脱臼してしまった。	48	30~49
2	16~17	原料処理肉処理室の作業台に取り付けてある脚が一カ所折れており、作業中に折れている脚と床の間に右足が挟まり転倒した。その際手に計量器を持っており、即座に身体を支えることが出来ずに左足の膝を床に強打して骨折した。	67	~999
2	19~20	商品の搬入口で、パレットに商品を積み付けしている最中に、別の現場作業員が搬入口で作業している事に気付かず、シートシャッターを下ろしてしまい、頭部にシートシャッターがぶつかった。	41	~499
3	9~10	常温庫に入ろうとしたとき、設置されているシートシャッターが上に上がっていたので、通過しようとしたところ、シートシャッターが下りてきて、シート	62	~

		シャッターの下部が頭頂部にぶつかった。		999
3	17~18	キッチンにて清掃中、ラックの上段から天板が落下し、右足親指付け根と爪の間に当たり、不全骨折を負った。	21	100 ~ 299
3	11~12	給食共同調理場で、ガス釜上部のダクトを掃除しようとガス釜のふちに足を乗せ、ダクトカバーを外していたところ、バランスを崩して背中から転落し、左腕を骨折した。	59	30~ 49
4	11~ 12	給食で提供する揚げパンを揚げていたところ、パンの落下により、油が左手の中指・薬指・小指・甲・左手首、及び左腕にはねて火傷を負った。	55	1~9
4	14~ 15	30mlの化粧品のガラス瓶を左手で持ち、右手でキャップを開けようとして、キャップがきつく、キャップがゆるむ前に瓶の首部分が割れてしまい、その部分で左手の親指と人差し指を切った。	55	100 ~ 299
4	12~ 13	スチームコンベクションオーブンの上にあつた鍋つかみを取ろうとしたらスチームコンベクションの扉が開いて、蒸気により腕を火傷した。	59	1~9
5	2~3	休憩の為、休憩室へ入ったところでふらついた状態で歩き、休憩室の椅子に気付かず右足中指をぶつけて骨折した。	26	100 ~ 299
5	19~ 20	トッピング室内のゴミ箱に足を引っ掛けて転倒した際に、右肩をぶつけて腱が切れた。	58	300 ~ 499
5	10~ 11	ベーコン製造ラインで使用している高速スライサーにおいてベーコンの原木をグリッパーにセットする際に、誤ってグリッパーの爪付近で原木を持ってセット作業を行ってしまい、原木と指を一緒に爪の部分で挟んだ。	23	100 ~ 299
5	9~ 10	下処理室から調理場に入る時、調理場入り口横の業務用扇風機の脚にぶつかり左足もも横を強打し、前に手をついて倒れた。その後も仕事を続けたが、強打した部分がソフトボール大に腫れて痛みが増し、歩行困難な状態となった。	53	30~ 49
6	16~	ベルトコンベア清掃の為、作業台の上で作業をしていたところ、バランスを崩し	57	50~

	17	て作業台から落下し、左腕を負傷した。		99
6	14~ 15	当社工場内、業務用充填機作業所において、メイプルシロップ充填後の熱湯洗浄作業を終えた時、ストレーナー内の熱湯を出すため取り外したところ、熱湯受けのバケツを使用して取り外すところ、うっかりして使用せず取り外してしまったため、ストレーナー内に残っていた熱湯が左足の作業靴にかかり、小指と薬指に火傷を負ってしまった。	46	30~ 49
6	6~7	業務中、テーブルを移動させた時にテーブルの脚に足が掛かり、転倒して大腿骨を強打してしまった。	67	30~ 49
6	12~ 13	食器の洗浄中、洗浄機から乾燥機に移動中、近くのステンレスのシンクの角に肘を思いきりぶつけ、骨折した。	51	1~9
7	15~16	学校給食センター調理場内の消毒保管庫上部の清掃作業中、蒸気配管部分に誤って右前腕内側を接触させてしまった。	49	10~ 29
7	10~11	2Fトイレ内で用を足した後、トイレ用スリッパを脱ぎ、体を屈めてスリッパを揃えた後、立ち上がる際にバランスを崩し転倒した。その際に手洗いの陶器製のシンクに右目をぶつけ負傷した。	54	300 ~ 499
7	15~16	第3製造計量ラインにて、製品を、計量、充填中に空袋が機械の間に数枚落ちたため、作業員Aが一旦停止した。災害者が空袋を、取ろうとした時に作業員Aが周囲を確認せず、寸動状態で起動ボタンを押したため、機械が手前に下がりながら回転した。そのため、被災者が機械の下の部分と下がってきたフタに挟まれて、負傷した。	41	100 ~ 299
7	10~ 11	事務所内にて、本人使用の事務機の引き出しから2段目を引いて、開けた後閉めてからその前を横切ったが、その際最下段の引き出しにつまづき転倒した。その際、右手の甲側から床に着いたため右手首を負傷した。	64	300 ~ 499
7	16~ 17	工場3階洗浄室エリアにて、計量分割機の部品を洗浄している際に、部品の一つである上コンベアドライブローラーが受け取り台より落下し、自分の右足に直撃した。	60	50~ 99
		当社工場たこ焼きラインにおいて、生産終了後の清掃作業を行っていた。たこ焼		

7	15～ 16	き用のフライパン（縦30cm、横70cm、鉄板15kg）を洗浄のため、当社研修生と2人で持ち上げたときに、研修生はしっかり支持していたが、被災者が手を滑らせ、鉄板を自らの左足甲の上に落とし負傷した。	61	50～ 99
7	14～ 15	原料プラントの空ラック置き場へ空のラックを置きに行ったときに、元々並んでいた空ラックのうち1台が列からはみ出して並んでいた。このため、自分が持って来たラックを排水溝に向かって、傾斜があり床が不安定な場所に置いて、はみ出したラックを直そうとしたところ、自分が持って来たラックが倒れ、左足首に当たり負傷した。	40	100 ～ 299
7	9～ 10	調理場内の配膳室で、コンテナ保管庫のコンテナを拭く作業中に、コンテナ保管庫入口の安全レバーを解除する際、レバーが動かず、カー杯レバーを引っぱったところ、レバー奥側に置いていた左手に、レバーと連動して動く箇所が接触し、左手中指が切れた（傷口長さ3～4cm）。	47	50～ 99
7	7～8	本社第一工場の麺帯室において、原料の粉を取りに行く際に誤って滑り、機械の角で右大腿部を挫傷した。	41	100 ～ 299
7	19～ 20	事業所において、洗浄機を洗った後、床を洗い流すために洗浄機の蓋が置いてある台を動かした際に、蓋の差込口に右手指が当たって切創した。差込口は薄くて鋭利であるため、当たるとすぐに切れるようになっていた。	57	10～ 29
9	11～ 12	熱処理室ジェットオーブンでトーストパンを焼く作業を手伝っているとき、コンベアから焼きあがったパンを作業台におこうとして、布を何枚も重ねたつかみを使って網をつかむときに指が触れてしまった。大したことはないと思い、冷やさずそのまま作業を続けてしまった。その日は通常通り働き、公休日で3日間休み、日曜日に出勤。絆創膏を貼りかえる際に血が出てきたが、出血があるため現場作業はひかえてほしいということで早退した。左第二指に5mm程度の熱傷と診断された。	60	300 ～ 499
9	11～ 12	被災者は、ホッパーと粉コン位置を調整するために、ホッパー下部フレキを持ち、左右に揺らしながらホッパー下降させている際に、シリンダーからホッパーが脱落し被災者頭部に激突した。	48	1000 ～ 9999

10	23～ 24	IH炒め機の清掃のため煮沸を行い、清掃終了後IH炒め機の中にあるお湯を廃棄しようとしたところ、長靴の中にお湯が入ってしまい火傷をしてしまった。	29	500 ～ 999
10	7～8	事業所廊下にて、配達中に、通常には置いていない机が立ててあり、接触し、机が滑り、まわりこんで転び右膝を負傷した。	72	1～9
10	9～ 10	当社工場内で塩が入ったステンレス缶を手動で移動する際、ステンレス缶と壁の間に左手親指を挟んでしまい、負傷した。	45	50～ 99
11	13～ 14	工場内ラミネート機において製品のシート替作業中、古いシートと新しいシートを1m位重ねてラミネート機のローラーに挿入して行うところ、重なり幅が10～20cm位になってしまい重なり幅が少ないのでラミネート機の熱ローラー（約175℃）に上手くシートが入らないと思いシートに手を添えて熱ローラーに入れようとしたところ左手をローラーに挟まれ左手母指、示指、環指を裂傷と火傷をした。	24	50～ 99
11	20～ 21	包装設備の洗浄業務にて、ラインの消毒の為に次亜塩素酸Naが入った噴霧器にて噴霧作業を行っていた。噴霧場所は計量機のホッパー箇所であり、位置的に高所にある為、高さ約60cmの足場が設置されている。その足場に噴霧器を置き噴霧していたところ、噴霧器が足場から落下しそうになり慌てて落下を阻止しようとした。その際、自身がバランスを崩して右向きで地面に落下した。	53	10～ 29
11	12～ 13	工場内で作業をしていた時に、近くで別の作業をしていた社員が誤って鉄の枠を30cm位の高さの台から落としてしまい、右足の甲に接触した。	23	30～ 49
11	11～ 12	フライヤーレーンを洗浄する際、レーンを2人で持ち上げレーンの中を洗おうとしたところ、肩にレーンが当たってしまい落ちてきて指を挟まれた。うっ血が酷かった為、整形外科を受診し骨折と診断された。	54	50～ 99
12	15～16	工場内前室にて、台車に載せた半製品を包装室内に運び込もうとした。その際、入口のブラインドシャッター前に台車を置き、ブラインドシャッターを上昇させた時に台車がブラインドシャッターに触れ、台車がブラインドシャッターに押される格好となり、その流れで体を押され、尻餅をつき負傷した。	60	30～ 49

12	8~9	エノキタケ詰込作業場所で、ビンに培地を詰込中、ミキサー内の残量を確認する為、脚立を使用してミキサーのふちに上った。その際、あおり部のロックに無意識のうちに触れ、地面へ降りた直後に、ロックが外れたあおりが落下し頭部に接触した。	20	50~ 99
12	1~2	被災者は自動ドアを引き戸と勘違いし手を触れていた所、ドアの向かう側の方が自動ドアを作動させてしまった為、ドアの隙間に指を挟まれた。	60	1000 ~ 9999
12	9~10	厨房内の洗浄コーナーで、朝食下膳の洗浄をしている時、割れた食器に気が付かず、右手人差し指の第1関節から指先にかけて、切傷してしまった。	46	10~ 29
12	16~17	当社にて、スポンジ交換等をするため、しゃがんで作業していた。立ち上がろうとしたときに、配管の引っ張りに足を引っ掛けて躓き、近くに置いてあった台車へ顔から倒れこんだ。咄嗟に手が出ず、台車の角に歯をぶつけ、そのまま両膝を床面で強打し、負傷した。	20	1~9
12	7~8	園の門を閉めているときに、閉める勢いで門に付いている鍵が落ちてきて、左手人差し指を挟み、切ってしまった。	43	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html